



地元説明（多面的機能支払い制度）



おかやま秋の収穫祭



政策提言（自由民主党岡山市議団）



市長提言（岡山エコシステム）



赤い羽根共同募金活動

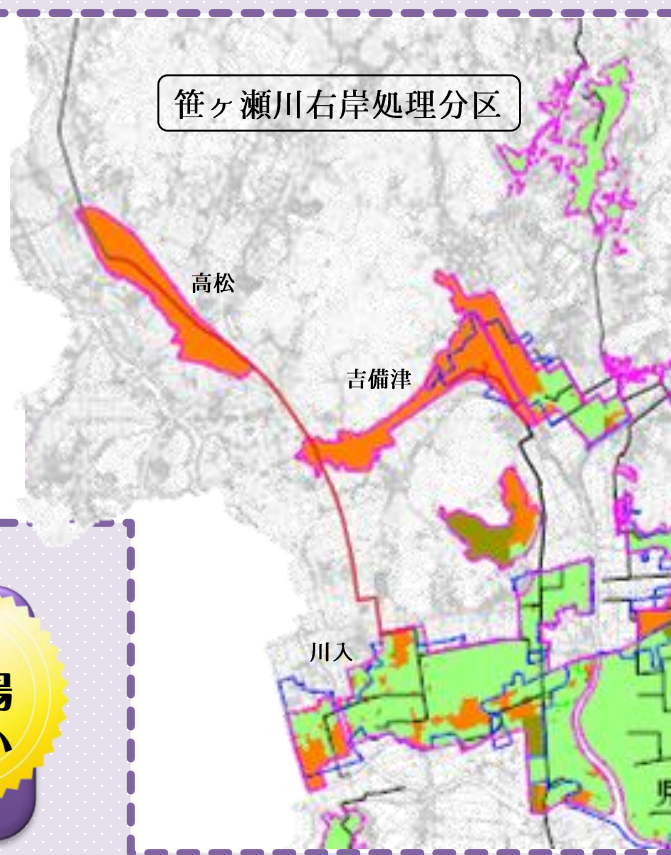


地域要望（吉備津出張所跡地利用）

➤ 下水道整備アクションプラン

アクションプランとは、概ね平成37年までに下水道整備を実現するため、発注方法の見直しや、民間活力導入等の創意工夫を組み込んだ整備計画であり、下水道未着手地区の高松、吉備津地区などを整備エリアとしている。
平成29年度は、川入からの笹ヶ瀬右岸幹線の現地調査や設計業務が予定されている。

…アクションプラン区域



2017市政報告会のお知らせ

日時／9月9日（日）11：00～
場所／岡山アークホテル
会費／5,000円

ぜひ
ご来場
下さい

松田たかゆき 事務所

TEL & FAX / 086-287-5697

〒701-1333 岡山市北区立田140番地8
E-mail / t-matsuda@takayuki-matsuda.com
http://www.takayuki-matsuda.com

■所属委員会
経済委員会
大都市制度調査特別委員会 副委員長
■プロフィール
三井造船船玉野造船所（7年間勤務）
岡山市役所退職（35年間勤務）
建設設備の設計施工管理
環境局関連事業
廃棄物事業・地球温暖化対策事業
ESD国際会議誘致等
（公財）岡山市ふれあい公社（2年間勤務）
2015年 岡山市議会議員



市政または地域のことについてご相談・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

岡山市議会議員（北区選出） 自由民主党岡山市議団所属

松田たかゆき 市政活動報告

Vol. 4



ごあいさつ

めっきり春らしくなってきましたが、皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。市政活動報告【Vol4】では、平成28年11月及び、平成29年2月定例市議会における個人質問や、日頃の活動の一部をお伝え致しますのでご覧下さい。
議員になり2年が経ちましたが、皆様に身近な議員として、初心を忘れることなく精進してまいりますので、ご指導よろしくお願い致します。

岡山市議会議員 松田隆之

Topics

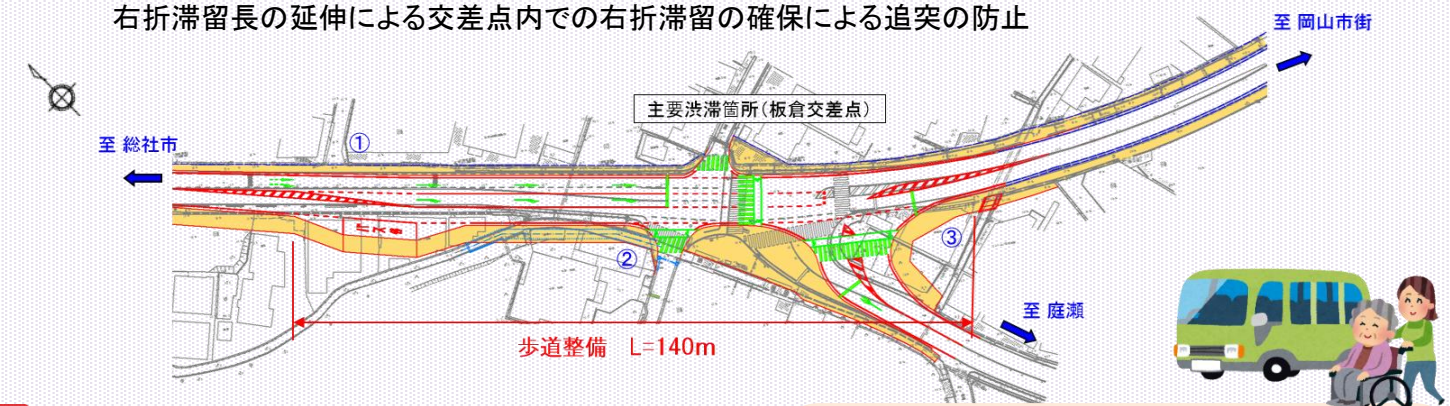
➤ 新しい文化芸術施設の整備

整備地：表町三丁目千日前地区市街地再開発事業予定地
コンセプト：「魅せる」「集う」「つくる」
諸室計画：（平成28年6月策定の基本計画より）
・大ホールエリア…多目的な利用に適した大ホール（1,700席程度）
・中ホールエリア…演劇の上演に適した中ホール（800席程度）
・創造支援エリア…大スタジオ、大中小練習室、創造スタッフ室、工房など
・交流促進エリア…オープンロビー、情報コーナー、カフェ・レストランなど
・その他エリア…管理事務室、救護室など
施設整備：平成33年度末



➤ 一般国道180号 板倉交差点改良工事

整備主体：国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所
整備時期：平成29年度～平成30年度（予定）
整備内容：歩道整備により歩行者・自転車の安全・安心な動線を確保
右折滞留長の延伸による交差点内での右折滞留の確保による追突の防止



➤ 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援1、2の方を対象とした、ホームヘルプサービス・デイサービスに、従来のサービスに加え、平成29年4月から「低料金のサービス」が新たに加わりました。
なお、要介護1～5の方が利用している介護保険サービスに変更はありません。



平成29年4月から開始する低料金サービス

- ホームヘルプサービス
入浴、排せつ、食事の介護などの身体介護は行わず、掃除、買い物などの生活援助に限定したサービス
- デイサービス
運動プログラムを中心とした2～3時間程度の短時間サービス

発行 | 松田たかゆき事務所 平成29年春号

質問項目

- 介護予防・日常生活支援総合事業について
- 新たな総合交通計画の策定について
- 農業用施設の改善と省力化について
- 高齢ドライバーの事故防止について
- 下水道整備計画について

新たな総合交通計画の策定について

- Ｑ** 新たな総合交通計画を策定中だが、策定内容と期待する成果は？

市は、目指す公共交通中心の交通ネットワークについて、具体の将来像とその実現化策を検討しており、公共交通サービスに対する市民のニーズ調査や現状の課題、施策実施による効果の数値化など、具体的に表現できる計画としたい。

- Ｑ** 自動車から公共交通への転換の大小により、交通ネットワークに違いが生じるのか？

公共交通の利便性向上を検討する際、運行本数の増加、所用時間の短縮、運賃の割引、新駅の設置、道路整備等の各種施策の有無に応じて、車から公共交通への転換の度合いが異なってくる。都心と高松・足守方面などを結ぶ連携軸ごとに公共交通の運行本数や運賃等による、自動車から公共交通への乗りかえの転換点などをアンケート調査し有効な施策を明らかにする。

- Ｑ** 吉備線LRT（路面電車）化の検討状況と実現可能性について示せ。また、早い時期に、沿線地域住民に対し説明会を実施してはどうか。

現在、JRと岡山市、総社市の3者で事業費コストの削減や、役割分担を協議中で、平成29年度中に一定のめどを立てたい。地域住民には、一定のめどが立った後に、LRTの意義や必要性、吉備線を軸にしたまちづくりなどを合わせ説明したい。

（市長）

今の状況とか、我々として言える範囲のところについては、一度説明させていただくというのは良いのではないかなと思う。



下水道整備計画について

- Ｑ** 下水道と浄化槽の経済性比較、未着手地区の収支採算性などの検討結果は？

下水道未着手地区については、収支採算性の検討を行っており、高松・吉備津地区のようにおおむね10年程度で整備するとした地区については、経済性の比較、収支採算性とも下水道事業としての妥当性が確認できた。

- Ｑ** 吉備津地区、高松地区への下水道幹線の整備に向けた取り組み方針は？

両地区の下水道整備は、今後おおむね10年程度で着実に整備する必要があると考えており、来年度以降、笹ヶ瀬右岸幹線等の整備に向けて、幹線の設計や、面整備に向けた地形測量等を進めたい。

農業用施設の改善と省力化について

- Ｑ** 周辺農村地域では、水路、ため池、排水機場などの農業用施設の改善と省力化、市道の路肩整備や舗装要望等が増えている。人・物・予算の拡充が是非とも必要ではないか？

老朽化の進む農業用水利施設に対して、維持管理の効率化、省力化を進めることは国を挙げての課題であり補助制度等を活用し予算の拡充に努めたい。市道については、緊急性や必要性の高い路線から順次整備を進めている。農地周辺の市道においても、幅員が狭い場合や路肩に傷みがある場合には路肩の整備を実施しており、今後も業務の効率を高めながら地域要望に応えたい。

- Ｑ** 町内会長や農業水利土木員等から多くの改修・改善要望が届いているが、対応状況は？

今年10月末時点における農業用施設等に係る要望は全市域で760件、うち29件は実施できないことを要望者に伝え、310件は本年度対応済み若しくは対応予定、421件については、来年度以降の対応を検討中。



- Ｑ** 農業水利土木員と水利監督員の報酬額について、検討状況は。

膨大な農業用施設等の管理を行っていくには、地域の皆様のご協力をいただく必要があり、関係者の方々のご意見や活動の実態も踏まえて業務内容を精査したうえで、29年度中に制度の見直しを進める。

高齢ドライバーの事故防止について

- Ｑ** 運転免許証について、どうすれば、高齢者の自主返納を促すことができるとお考えか。

市では、生活の不便を解消するためデマンド型乗り合いタクシーなどの試験運行もやっているが、こういった施策も自主返納の促進に寄与するのではないかと考えている。高齢者が利用しやすい環境整備をひとつひとつ着実にやっていかなければならない。



- Ｑ** 岡山県警が実施している「おかやま愛カード」は、協賛店での商品の割引、主要路線バスの運賃半額や、タクシー運賃の1割引き等の支援制度ですが、市も共同して支援策を強化してはどうか。

今後とも岡山県警と連携を図りながら、高齢者を対象とした交通安全教室等を通じて、おかやま愛カードの周知を図るとともに、他都市の事例等を調査研究してまいりたい。



質問項目

- 岡山操車場跡地整備について
- 健幸ポイント事業の今後について
- 空き家とあき地の対策について
- 平成29年度予算案について
- ・イノシシ対策・土地利用のあり方・吉備線LRT化
- ・超小型モビリティ・放課後児童クラブ・浸水対策
- ・用水路安全対策・本会議場エレベーター設置

健幸ポイント事業の今後について

- Ｑ** 実施結果とご所見を。

健幸ポイント事業には4,431人の方々が参加、1日の平均歩数は、約6,400歩から8,600歩と増加、歩くことの習慣化が図られている。それに伴いBMI数値が肥満に該当していた方のうち、約20%が標準値に改善するなど良い結果につながっている。

- Ｑ** 健幸ポイント事業費は、2年3箇月で1億6,000万円、来年度の健康ポイント事業費は2,550万円、やる気を起こさせるインセンティブ原資はいくらか。今回の予算額で事業の目的は達成できますか。

これまでは、国の財源でやっていたが、来年度からは市費（委託料1650万円）の中でやらなければならない。これまでの取組で市民の皆さんには、歩くこと、運動することが体に良いことが広がってきており、市民に意識を持ってもらえるよう最大限の努力をしたい。



空き家とあき地の対策について

- Ｑ** 特定空家の認定件数と新たな課題は。

今年度370件の現地調査を終え、67件を特定空家に認定した。新たな課題は、建物の登記手続きがされてない空家が多く、所有者調査に多大な日数を要すること、所有者が特定できても、経済的理由などにより対策が進まないこと。

- Ｑ** 空家の除却補助は特定空家が対象で、その認定基準は、倒壊の危険度、衛生上有害、景観、周辺の生活環境の保全の4項目ですが、住める状態ではない空家であっても、現基準では特定空家にならない。基準を見直し除却支援を強化すべきでは。

認定基準は県内統一で、建物の老朽度・危険度を点数化し不良度により特定空家を認定している。景観や周辺環境については点数化していないが、特定空家の認定基準として調査し総合的に判断している。基準の見直しが必要になれば、空家対策推進協議会の中で対応し対策を進める。

- Ｑ** 空家除却後の「あき地バンク」を開設できないか。

除却後のあき地に対し、課題が沢山あることは承知しており研究したい。

岡山操車場跡地整備について

- Ｑ** 操車場跡地は、「環境先進都市の拠点となる森づくりを目指すこと」等を整備方針としており、地産地消食堂、スマートハウス、緑化駐車場、楽しく乗れる立ち乗り型乗り物など、訪れる市民が、楽しく低炭素社会を感じる跡地整備を提案するがご所見を。

操車場跡地は、積極的な植樹により緑のボリュームアップを図ることとしており、太陽光発電、雨水利用システムの導入、EV充電器設置などの低炭素社会の実現に向けた取り組みを進めており、地産地消についても飲食店舗や食に関する催し等において積極的に展開したい。

平成29年度予算案について

- Ｑ** JR吉備線のLRT化には、赤字額や営業係数、乗客数の検証が重要と考えるが。

現在、LRT化する場合のイニシャル及び、ランニングコストの詳細を詰めており、その後は、収入や収支バランスの検討に移る。その折には、経営状況を踏まえた交渉をしていくことになり、赤字額についてもJR側に提示を求めていく。



- Ｑ** 放課後児童クラブの質の改善と量の改善結果、来年度、受入れできない児童がでるようであれば夏休みに向けた対策はどうか。

今年度は支援員の待遇改善など行い受入総数は5,822人から789人増加した。来年度は、更なる開所日時の延長や15クラブで施設整備を行う。現在、受入できない児童数は把握していないが、夏休み等には学校教室の一部利用を検討するなど個別に対応する。



- Ｑ** 増加する集中豪雨に対し、排水機場の運転状況や河川の情報伝達システムの構築及び、流水確保のための藻の適切な除去が重要です。ご所見を。

排水機場の運転は、樋門操作と連携しながら地元操作員の方々に担って頂いており、担当部署より運転依頼を行うと共に、運転状況の把握に努めている。現在、ベテラン職員が培ってきた経験のマニュアル化に向けて、統制のとれた体制整備に取り組んでいる。藻については、水路の底張りや除塵機の新設等も行いながら、発生抑制と除去に取り組む。

- Ｑ** 本会議場傍聴席にエレベーターは設置できないか。法的規制と費用対効果をどう判断するのか。傍聴席までの階段には手すりもない。

エレベーターの設置には、法令上、構造上の課題があり総合的な判断が必要となる。現時点では、エレベーターの設置場所や必要な改修範囲も決まっていないため、費用対効果がいくらなのか、また、判断時期についても申し上げることはできない。階段両側への手すりの設置については出来る所から対応する。